

事業概略書

事業名	精神科医療の機能強化に関する調査研究事業 ～訪問看護の充実に関する調査研究～
事業目的	一昨年度より、精神障害者の地域生活を支援するために、訪問看護の質・量ともに充実を図る調査研究事業を実施し、精神障害者への訪問看護サービス拡大に向けて成果をあげてきた。今後さらなる充実を図るために、すでに精神障害者への訪問実績を有する訪問看護事業所への支援を行い、サービスの質向上を図ることが重要と考えた。そこで、①精神訪問看護の実態を把握するための実態調査と、②多職種カンファレンスモデル事業・退院前訪問モデル事業を実施した。
事業概要	アンケート調査により、全国の訪問看護ステーションにおける精神科訪問看護の実施実績等を把握するとともに、精神科訪問看護を実施している事業所における他職種とのカンファレンス等の実施状況を調査した。さらに、精神科訪問看護サービスを実施する事例について、訪問看護ステーションの訪問看護師が、医療機関の主治医や看護師、精神保健福祉士、居宅介護事業所の介護支援専門員や介護職員、その他行政機関等の関係者との効果的な多職種カンファレンスを行うモデル事業を全国6地域で実施し、そのプロセスを詳細に記録・分析することで精神障害者の地域生活を効果的に支援するネットワーク構築方法を検討した。
事業実施結果及び効果	精神疾患(認知症を除く)が主傷病である利用者への訪問を行った事業所の割合は49.4%であり、前年度に比べ、増加していることがわかった。しかし、マンパワー不足や地域の社会資源とのネットワークの形成に苦慮しているといった課題もあり、今後ますますの普及に向けてとるべき方策を検討する必要性を感じた。 多職種カンファレンスの連携による効果は、例えば在宅利用者に対するものであれば、関係機関との連携や情報交換・共有が、本人も含めた家族支援につながることが指摘されており、家族支援の面からも非常に有効であった。また、多職種間での連携が緊急時の迅速な対応を可能にするため、症状悪化に対する早期対応・介入、複数の情報共有した諸機関による総合的判断が可能となり、支援にあたっての各機関の役割分担等の調整が円滑にできるというメリットが得られた。
事業主体	〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12 壹丁目参番館 302 社団法人 全国訪問看護事業協会 TEL:03-3351-5898 E-MAIL:zenhokan@athena.ocn.ne.jp

(注)1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。

2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。